

OPENING CONCERT SERIES

ソラ

ミミ

ノ

トモシ

空耳の灯し

ヴォーカル

ピアノ

ベース

ermhoi + marty hicks + marty holoubek

at Note Trail 音楽サロン



AUGUST 1, 2026

八月一日 (土)

開場 一八時半 DOORS: 6:30PM

開演 十九時 START: 7:00PM

一般料金 三千円 TICKETS: ¥3,000



NOTE TRAIL
CLASSIC MUSIC SALON

横浜市に佇む、8m近い高天井と
極上の音響を備えた、優雅なサロンホール

神奈川県横浜市南区東蒔田町2-5

HP: notetrail.jp (4月中公開)

ホールに関するお問い合わせ:

contact@notetrail.jp

後援: スタインウェイ・ジャパン株式会社

8月1日(土)

開場 18:30 / 開演 19:00

一般料金 3,000円

@ Note Trail Classic Music Salon

空耳の灯し

ermhoi + marty hicks + marty holoubek

ermhoi (vocals, harp, electronics)

日本とアイルランド双方にルーツを持ち、ジャンルを縦横無尽に行き交うプロデューサー/シンガー。近年はソロの他にも、Black Boboiのメンバーとしての活動や、石橋英子のサポートをしている。

1st Album『Junior Refugee』を2015年にSalvaged Tapesからリリース。その活動は映画やTVCM、美術展への楽曲提供とリミックス、さらにはボーカルやシンセ、コーラスとしてのサポートなど多岐に渡る。

これまで石若駿や常田大希、江崎文武ら日本を代表する同世代の音楽家たちと共作するだけでなく、石橋英子やJim O'Rourke、Phew、Codeineといった世界的に著名な音楽家たちとも共演。さらにMONDO GROSSOや東京塩麹、Sen Morimoto、Maika Loubtéの作品に客演として抜擢されるなど、国内外で活躍するアーティストたちと交流を重ねてきた。

2018年には小林うてな、julia shortreedと共にblack boboiを結成し、「FUJI ROCK FESTIVAL '19」のレッドマーキーや、2023年にはMutek.JPにも出演。2024年にはベルリンと東京の交換レジデンスプログラムに参加。初めて国外での演奏を成功させる。

2025年には、Venezia Biennale 建築展の日本館の音楽も担当。

最新シングル、「Seagull and Bear」を配信中。



marty hicks (piano, electronics)

オーストラリア・メルボルン出身、東京在住のピアニスト・作曲家・サウンドデザイナー。

2011年にメルボルン大学ジャズピアノ専攻を卒業し、

2018年に東京藝術大学大学院音楽文化学音楽音響創造分野修士課程を修了、同年大学院アカンサス音楽賞を受賞。

洗足学園音楽大学 音楽・音響デザイン及び音楽音響クリエイティブ表現コースにて専任教員を務む。

音楽レーベル「M研COLLECTIVE」と「aloeswood_records」主宰。

日本を拠点にジャズライブから電子音楽の制作まで、幅広く音楽活動を行っている。

オリジナルアルバムを国内・海外のレーベルでリリースし、Luke Howardやermhoi、

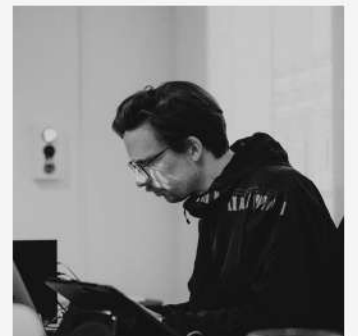
青山ミチルをはじめとして多数のコラボレーション作品にも参加。

副島しのぶや関口和希、マリオナ・ロレタ、アキン・オモトソなど、様々な映像作家の作品の音楽・サウンドデザインや、SONY、ユニクロ、楽天、DIOR、BANANA REPUBLICなどの企業のドキュメンタリー・CM映像の音楽やソニック・ロゴを制作。

日本やオーストラリア、アメリカ、中国などで公演・発表会に参加し、美術館を始めとして様々な場所で多様な音表現を軸にしたサウンドアート作品も発表。

最新アルバム「And still, a resonance」をaloeswood_recordsにて発売中。

www.martyhicks.com



marty holoubek (bass, electronics)

南オーストラリアのアデレード出身のMarty Holoubekは、現在東京を拠点にするミュージシャンです。

幼少期から音楽への情熱を抱き、10代でベースを始め、まもなく優れたミュージシャンとしての評判を得ました。

21歳のとき、活気ある都市、メルボルンに移住し、その芸術性が開花し始めました。

メルボルン時代にはAllan Browne、Paul Grabowsky、Scott Tinkler、James Morrison、James Bowers、Clio Renner、Sex on Toastなどのアーティストと共演を重ねました。

2018年8月、新たな音楽の探求を深めるために、東京への移住を決断しました。

この賑やかな大都市に広がる豊かな文化的背景とダイナミックな音楽シーンは、彼の創造性がさらに発展する理想的な環境となりました。東京に到着して以来、Martyは日本の音楽シーンで急速に注目され、

日野皓正、Jim O'Rourke、石橋英子、ermhoi、崎山蒼志、TOMOO、HIMI、森山直太郎、a子、角銅真実、

石若駿、岡田拓郎、Answer to Rememberなどの著名なアーティストと共演しています。

多様な影響が組み合わさり、独自かつ魅力的なサウンドを生み出す機会に恵まれました。

アデレードで生まれ、メルボルンの音楽シーンで育ち、現在は東京のクリエイティブな土壌にしっかりと根付いたMarty Holoubekの音楽は世界中の観客を魅了しています。

